

## 令和8年度 熊本大学病院 医師労働時間短縮計画

計画期間

令和8年4月～令和9年3月末

対象医師

(以下、各診療科の医師数を記載しているが、本計画における連携Bの対象医師数は、各診療科の8年度目標に記載する960時間超の人数とする)

血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部医師 (30名)

心臓血管外科医師 (9名) 呼吸器外科医師 (9名)

消化器外科医師 (37名) 乳腺・内分泌外科医師 (7名)

小児外科・移植外科・移植医療センター医師 (11名)

産科・婦人科医師 (25名) 小児科医師 (36名)

整形外科・リハビリテーション部医師 (33名)

災害医療教育研究センター医師 (1名)

### 1. 労働時間と組織管理 (共通記載事項)

#### (1) 労働時間数

血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部医師 (30名)

| 年間の時間外・休日労働時間数       | 7年実績      | 8年度目標     | 計画期間終了年度の目標 |
|----------------------|-----------|-----------|-------------|
| 平均                   | 300時間 44分 | 720時間 0分  | 720時間 0分    |
| 最長                   | 606時間 48分 | 1440時間 0分 | 1,440時間 0分  |
| 960時間超～1,860時間の人数・割合 | 0人 0%     | 1人 3%     | 1人 3%       |
| 1,860時間超の人数・割合       | 0人 0%     | 0人 0%     | 0人 0%       |

心臓血管外科医師 (9名)

| 年間の時間外・休日労働時間数       | 7年実績      | 8年度目標      | 計画期間終了年度の目標 |
|----------------------|-----------|------------|-------------|
| 平均                   | 734時間 15分 | 900時間 0分   | 900時間 0分    |
| 最長                   | 894時間 28分 | 1,200時間 0分 | 1,200時間 0分  |
| 960時間超～1,860時間の人数・割合 | 0人 0%     | 3人 33%     | 3人 33%      |
| 1,860時間超の人数・割合       | 0人 0%     | 0人 0%      | 0人 0%       |

呼吸器外科医師（9名）

| 年間の時間外・休日労働時間数       | 7年実績      | 8年度目標      | 計画期間終了年度の目標 |
|----------------------|-----------|------------|-------------|
| 平均                   | 411時間 17分 | 1,040時間 0分 | 1,040時間 0分  |
| 最長                   | 714時間 5分  | 1,100時間 0分 | 1,100時間 0分  |
| 960時間超～1,860時間の人数・割合 | 0人 0%     | 2人 22%     | 2人 22%      |
| 1,860時間超の人数・割合       | 0人 0%     | 0人 0%      | 0人 0%       |

消化器外科医師（37名）

| 年間の時間外・休日労働時間数       | 7年実績      | 8年度目標      | 計画期間終了年度の目標 |
|----------------------|-----------|------------|-------------|
| 平均                   | 544時間 9分  | 900時間 0分   | 900時間 0分    |
| 最長                   | 846時間 34分 | 1,600時間 0分 | 1,600時間 0分  |
| 960時間超～1,860時間の人数・割合 | 0人 0%     | 3人 8%      | 3人 8%       |
| 1,860時間超の人数・割合       | 0人 0%     | 0人 0%      | 0人 0%       |

乳腺・内分泌外科医師（7名）

| 年間の時間外・休日労働時間数       | 7年実績      | 8年度目標      | 計画期間終了年度の目標 |
|----------------------|-----------|------------|-------------|
| 平均                   | 394時間 53分 | 880時間 0分   | 880時間 0分    |
| 最長                   | 713時間 9分  | 1,400時間 0分 | 1,400時間 0分  |
| 960時間超～1,860時間の人数・割合 | 0人 0%     | 1人 14%     | 1人 14%      |
| 1,860時間超の人数・割合       | 0人 0%     | 0人 0%      | 0人 0%       |

小児外科・移植外科・移植医療センター医師（11名）

| 年間の時間外・休日労働時間数       | 7年実績     | 8年度目標      | 計画期間終了年度の目標 |
|----------------------|----------|------------|-------------|
| 平均                   | 359時間 0分 | 890時間 0分   | 890時間 0分    |
| 最長                   | 743時間 2分 | 1,600時間 0分 | 1,600時間 0分  |
| 960時間超～1,860時間の人数・割合 | 0人 0%    | 1人 9%      | 1人 9%       |
| 1,860時間超の人数・割合       | 0人 0%    | 0人 0%      | 0人 0%       |

産科・婦人科医師（25名）

| 年間の時間外・休日労働時間数       | 7年実績      | 8年度目標      | 計画期間終了年度の目標 |
|----------------------|-----------|------------|-------------|
| 平均                   | 496時間 58分 | 500時間 0分   | 500時間 0分    |
| 最長                   | 904時間 56分 | 1,200時間 0分 | 1,200時間 0分  |
| 960時間超～1,860時間の人数・割合 | 0人 0%     | 1人 4%      | 1人 4%       |
| 1,860時間超の人数・割合       | 0人 0%     | 0人 0%      | 0人 0%       |

小児科医師（36名）

| 年間の時間外・休日労働時間数       | 7年実績      | 8年度目標      | 計画期間終了年度の目標 |
|----------------------|-----------|------------|-------------|
| 平均                   | 340時間 19分 | 890時間 0分   | 890時間 0分    |
| 最長                   | 745時間 4分  | 1,600時間 0分 | 1,600時間 0分  |
| 960時間超～1,860時間の人数・割合 | 0人 0%     | 15人 42%    | 15人 42%     |
| 1,860時間超の人数・割合       | 0人 0%     | 0人 0%      | 0人 0%       |

整形外科・リハビリテーション部医師（33名）

| 年間の時間外・休日労働時間数       | 7年実績      | 8年度目標      | 計画期間終了年度の目標 |
|----------------------|-----------|------------|-------------|
| 平均                   | 369時間 1分  | 780時間 0分   | 780時間 0分    |
| 最長                   | 681時間 54分 | 1,600時間 0分 | 1,600時間 0分  |
| 960時間超～1,860時間の人数・割合 | 0人 0%     | 14人 42%    | 14人 42%     |
| 1,860時間超の人数・割合       | 0人 0%     | 0人 0%      | 0人 0%       |

災害医療教育研究センター医師（1名）

| 年間の時間外・休日労働時間数       | 7年実績      | 8年度目標      | 計画期間終了年度の目標 |
|----------------------|-----------|------------|-------------|
| 平均                   | 331時間 21分 | 1,000時間 0分 | 1,000時間 0分  |
| 最長                   | 331時間 21分 | 1,000時間 0分 | 1,000時間 0分  |
| 960時間超～1,860時間の人数・割合 | 0人 0%     | 1人 100%    | 1人 100%     |
| 1,860時間超の人数・割合       | 0人 0%     | 0人 0%      | 0人 0%       |

(2) 労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

|             |  |
|-------------|--|
| 7年度の実績      | 令和5年6月に導入した勤怠システム「Dr. JOY」を活用し兼業時間を含めた労働時間管理を徹底した。 |
| 当年度の実績      | 引き続き、上記事項に取り組む。                                    |
| 計画期間終了年度の実績 | 同上   |

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

|             |   |
|-------------|---|
| 7年度の実績      | 令和5年度から未取得部署の宿日直許可取得手続きを進め、Dr. JOYのシステムを活用し兼業先の宿日直許可の有無を踏まえた適切な労務管理を開始した。 |
| 当年度の実績      | 引き続き、上記事項に取り組む。   |
| 計画期間終了年度の実績 | 同上  |

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

|             |   |
|-------------|---|
| 7年度の実績      | 研鑽に関する取扱指針に基づき、令和5年度に導入したDr. JOYにより申請内容を日々申請し、上司の承認を得る体制としている。また令和7年度に「医師の研鑽に関する取扱指針」を見直し、院内委員会での審議及びイントラネットでの周知を図った。 |
| 当年度の実績      | 引き続き研鑽に関する取扱指針に基づき、Dr. JOYにより、申請内容を日々申請し、上司の承認を得る。  |
| 計画期間終了年度の実績 | 同上  |

【労使の話し合い、36協定の締結】

|             |   |
|-------------|---|
| 7年度の実績      | 36協定の締結に当たり、総務部労務課が病院事業場の過半数代表者と協議・締結し、届け出た36協定を院内に周知を行った。また、病院長と医師の意見交換を行う場を設けることを目的として、意見書を配布し、意見を確認した。 |
| 当年度の実績      | 36協定の締結に当たり、総務部労務課が病院事業場の過半数代表者と協議・締結し、届け出た36協定を院内に周知を行う。   |
| 計画期間終了年度の実績 | 同上  |

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

|               |  |
|---------------|--|
| 7年度の実績        | 令和5年10月から長時間労働医師（月80時間以上）については、面接指導養成講習受講医師による面接を開始し、155時間超過者に対しては改善措置を講じ、これらの状況について、毎月開催している運営審議会、労働安全衛生委員会に報告した。 |
| 当年度の実績目標      | 引き続き、上記事項に取り組む。  |
| 計画期間終了年度の実績目標 | 同上   |

【追加的健康確保措置の実施】

|            |   |
|------------|---|
| 7年度の実績     | DrJOY上のマニュアルを整備し周知を図った。代償休息未取得者には取得を促し取得させた。また、令和6年4月から医員のフルタイム雇用推進及び変形労働時間制を適用し、勤務環境整備を行い、連続勤務時間制限、勤務間インターバル及び代償休息の確保を図り、対象医師への面接指導を適切に実施した。 |
| 当年度の実績目標   | 引き続き、上記事項に取り組む。   |
| 計画期間中の実績目標 | 同上  |

(3) 意識改革・啓発

【働き方改革に関する医師の意識改革】

|               |  |
|---------------|--|
| 7年度の実績        | トップマネジメント研修に病院長及び働き方改革担当の副病院長が参加した。イントラネットの特設ページに掲載している働き方改革に関する情報更新（説明動画掲載）や新任の診療科長に面接指導養成講習受講により意識改革や理解を促し勤務環境改善の意識付けを図った。 |
| 当年度の実績目標      | 引き続き、上記事項に取り組む。  |
| 計画期間終了年度の実績目標 | 同上   |

【医療を受ける者やその家族等への医師の働き方改革に関する説明】

|               |   |
|---------------|---|
| 7年度の実績        | 令和3年7月から、病状説明等を平日の診療時間内に行う旨を病院HP（トップページ）に掲載。周知用ポスターを院内各所に掲示し、患者を含む一般等へ広く周知を行った。 |
| 当年度の実績目標      | 引き続き、上記事項に取り組む。   |
| 計画期間終了年度の実績目標 | 同上  |

(4) 策定プロセス

医師の時間短縮計画やタスクシフト/シェアの内容の審議・検討については、各職種（医師、看護師、メディカルスタッフ、事務職）で構成される「医療従事者の負担軽減等取組検討委員会」で行っている。なお、策定した計画はイントラネットに掲載し、院内周知を図っている。

2. 労働時間短縮に向けた取組（項目ごとに任意の取組を記載）

(1) タスク・シフト/シェア

【看護師】

|               |  |
|---------------|--|
| 7年度の実績        | 令和2年度から開始した特定行為研修（外科術後病棟管理領域）は、令和6年度までに35名（院内21名）が受講を修了、7年度は9名（院内4名）が受講した。<br>また、5年度からは、術中麻酔管理領域研修も開始し、令和6年度までに10名（院内3名）が修了、7年度は3名（院内2名）が受講した。 |
| 当年度の実績目標      | 引き続き、特定行為研修（外科術後病棟管理領域及び術中麻酔管理領域）を確実に実施する。   |
| 計画期間終了年度の実績目標 | 上記事項に取り組み、外科術後病棟管理領域の院内研修修了者は各病棟において、術中麻酔管理領域は手術室において業務に従事し、医師とのタスクシフトを図る。   |

【メディカルスタッフ】

|               |   |
|---------------|---|
| 7年度の実績        | 令和4年度から各推進責任者のもと、「タスクシフト/シェア推進計画書」に基づき取り組みを実施し、医療従事者の負担軽減等取組検討委員会において進捗状況を確認した。臨床検査技師、診療放射線技師、臨床工学技士の共通項目については医療技術部で一元管理し、部内で情報共有を図りながら進めた。 |
| 当年度の実績目標      | 引き続き、上記推進計画書に基づいてタスクシフト/シェアを推進するために、医療従事者の負担軽減等取組検討委員会において進捗状況を確認する。  |
| 計画期間終了年度の実績目標 | 同上  |

(2) 医師の業務の見直し

【外来業務の見直し】

|               |  |
|---------------|--|
| 7年度の実績        | 令和7年7月の患者サポートステーション移転に伴い、10ブース体制を整備するなど、入院前支援の事前準備業務を集約化し、外来ブロックの混雑緩和、外来業務の負担軽減に取り組んだ。 |
| 当年度の実績目標      | 入院前支援業務について、対象診療科の拡大を継続し、安定的な支援体制の維持・定着を目指す。   |
| 計画期間終了年度の実績目標 | 入院前支援業務を全診療科に対して実施する。  |

【日当直の体制や分担の見直し】

|               |   |
|---------------|---|
| 7年度の実績        | 労働基準監督署の許可取得を進め、6年度までに22箇所取得。また、救急部の増強の検討や病棟宿日直の体制について検討した。 |
| 当年度の実績目標      | 引き続き、上記事項に取り組む。   |
| 計画期間終了年度の実績目標 | 同上  |

(3) その他の勤務環境改善

【ICTその他の設備投資】

|               |   |
|---------------|---|
| 7年度の実績        | くまもとメディカルネットワーク（KMN）においてRPAによる文書送受信の支援を継続した結果、令和7年度（4月から1月）の累計送信件数は19,785件となり、前年同時期の13,534件と比較して約1.46倍に増加した。KMNを活用した診療情報のやり取りが着実に広がっているものと考えている。また、診療情報提供書のKMN利用率は、2025年9月以降30パーセントを超える水準で推移しており、令和8年1月時点では32.41%を記録した。従来の手渡しによる提供率（16.25%）を安定して上回っており、KMNを通じた情報共有が定着しつつある。さらに、他病院への画像送付におけるKMN利用率は70%に達し、前年同時期の54%から大きく改善した。これにより、CD-R等の媒体作成や搬送の手間が減少しており、医師等の業務負担の軽減が進んでいる。電子サインシステム（タブレット端末を利用して同意書等に電子的にサインを行う機能）を耳鼻咽喉科・皮膚科等一部診療科の同意書を対象に導入し、紙媒体の取扱いの煩雑さやスキャン待ちのタイムラグを解消による医師業務の効率化及び紙媒体節減による費用削減等を進めた。 |
| 当年度の実績目標      | 引き続き、くまもとメディカルネットワーク、医療機器等を活用し、業務の効率化を強く推進する。   |
| 計画期間終了年度の実績目標 | 同上  |

(4) 副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

【副業・兼業先への医師労働時間短縮の協力要請】

|               |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| 7年度の実績        | 兼業先の医療機関に対して、追加的健康確保措置への協力を要請した。 |
| 当年度の実績目標      | 引き続き、上記事項に取り組む。                  |
| 計画期間終了年度の実績目標 | 同上                               |